

早期米荷受け始まる

岐宿ライスセンター

秋冬ブロッコリー播種始まる

黒蔵育苗施設

今年こそ順調な収穫を願って

高菜種蒔き

一粒ずつ豊作の願いを込めて

そら豆の種蒔きと掘り取り

信頼関係を築き早期ブランド化を目指す

JAごとう契約甘藷部会 目揃い会

子供たちに知って体験してもらう事

食農教育活動 JAごとう青年部富江支部



ごとう

2023

9

SEPTEMBER

JAごとう

No.211

食農教育活動で青年部員とトラクターに触れる児童



早期米荷受け始まる 岐宿ライスセンター

8月10日、岐宿町にあるJAごとうのライスセンターが稼働し、令和5年作の早期米の荷受けが開始されました。本年作の早期米は8月9日から10日にかけて襲来した台風6号の影響で収穫を早めざるを得なかった結果、例年よりも粒張が十分でなく、若干小振りな出来となっています。8月22日には持ち込まれたコシヒカリについて検査も行われました。検査数量は全体で9,337キロ。検査員がサンプルをピンセットでより分けながら、一粒一粒丁寧に確認していきます。約1時間程かけて入念な検査を行いました。結果は前述の早刈りの影響もあつて全量2等となっています。

～主食用米のJA出荷をお願いします～

現在、高齢化による作付け面積の減少及びWCSの普及に伴い、年々主食用米の出荷量が減少しています。五島で穫れた美味しいお米を島民の皆さんに食べて頂き、健康で長生きしてもらうためにも、地産地消の取組みに是非ご協力をお願いします。

①買取価格(30kgあたり)・・・1等 7,350円 2等 7,050円 3等 6,550円
(※もちは全ての等級で+650円)

②対 象 品 種・・・コシヒカリ、なつほのか、ヒノヒカリ、にこまる、もち

※すべて栽培日誌の提出が必要です。



秋冬ブロッコリー 播種始まる 黒蔵育苗施設

J Aごとう管内で生産される令和5年作の秋冬ブロッコリーの播種が、8月12日より大浜の黒蔵育苗施設で始まりました。

レールの上に設置された播種機に育苗箱をセットすると、まずは育苗箱に土が入れられていきます。育苗箱はなおもレールの上を流れながら、突起のあるローラーでプレスされ、播種の為に「凹み」を付けた後、種子・肥料そして水をかけられていきます。そうして完成した「播種後の育苗箱」は、職員の手によってハウス内に並べられると、生産者の手に渡るまで大事に育てられ、やがて立派な苗となって配布されます。本年作の秋冬ブロッコリーの播種については、10月2日までの間に8,576箱が播種され、生産者の元へと配布される予定となっています。



播種から約2週間もすると
こんなに大きく育ちます



今年こそ順調な収穫を願って

昨シーズン、干ばつや積雪に加え寒波にも見舞われた高菜。
今年も種蒔きが始まりました。

高菜種蒔き



昨シーズンの高菜は収穫前までは順調に育っていました。

令和5年産の高菜の種蒔きが8月17日、黒蔵地区にあるJAの育苗施設で始まりしました。

今年は、管内で40戸の生産者が51・2畝の作付けを計画しており、昨年より6畝増えています。

生産者の殆どは、畑に苗床を構え、自ら種を蒔いて苗を育て、圃場へ定植を行っています。

一方、JAでは、労力支援を目的に㈱JAファームごとくが定植などの作業を請け負っています。

種蒔きには、セルトレイ播種機と呼ばれる機械が使われ、128個のくさび形の小さいポット（穴）が連結して並ぶセルトレイに土入れ・播種・覆土・灌水の一連の作業が行えます。

水稲の種蒔きにも使われる育苗箱にセルトレイを載せ、機械に送り込みます。育苗用



被覆造粒された高菜の種子



セルトレイ播種機で進む高菜の種蒔き

培土が充填ホッパーからポットに落ちて入ると、回転する鎮圧ローラーがポット内の土を適度に押し込みます。トレイの淵に着いた土を回転ブラシが払い落とし、灌水装置から水が撒かれると、いよいよ種を蒔く作業です。

高菜の種は、一定の大きさ、形状に被覆造粒したPeSP（ピーエスピー）コート種子。

これは、種子を傷めない加工技術で、安定した発芽と播種の省力化を可能にするとされています。

種蒔きは、収穫期間に合わせて、8月下旬から10月上旬まで続きます。



高菜の種蒔きは8月下旬から10月上旬まで続けられます。



1枚の育苗箱に150粒の種を蒔いていきます。（写真左：本山支部、右：富江支部）

一粒ずつ豊作の願いを込めて

各支部ごとに全員で協力して種を蒔き掘り取り作業。

そら豆の種蒔きと掘り取り

J Aごとうそら豆部会では、令和5年産そら豆の種蒔きが8月下旬から各支部で始まりました。

管内では今年60戸の生産者が566[㍓]を栽培する計画です。

8月20日早朝、本山支部の部会員15名が畜産事業所で種蒔きを行いました。

そら豆の種蒔きは、播種後の鳥害が多いため、苗を育て植え付ける方が安心とされています。

品種は、サヤ付きが良く収量が多いとされる『唐比の春（からこのはる）』

そら豆の種には、黒い筋の入った部分を斜め下に向け、立てるように押し込んで種を蒔きます。部会員は、床土を入れた育苗箱に一箱当たり150粒の種を一粒ずつ丁寧に蒔いていきました。

そら豆の育苗は、水管理が難しく、水を与えすぎるとカビが発生し、逆に少ないと発芽率が落ちてしまうといえます。

松本昭支部長は今年の栽培に向けて「収穫前や集荷時に検討会を開いて品質の向上に努めたい」と意気込みを語りました。

8月28日には、崎山支部が発芽した種の掘り取りを行いました。22日に種を蒔いて、中5日程。2[㍓]ほどの根が伸



発芽した種を掘り取る作業（崎山支部）



2センチほど根が伸びたそら豆の種



発芽した種は200粒ずつ袋に入れられ一か月間冷蔵保存されます。

びた種を、一粒ずつ苗箱から掘り出し、200粒ずつビニール袋に入れていきます。「蒔いた種の8割近くが発芽していてほっとした。残りをもう一度蒔きなおして、発芽させれば上等です」と部会員も喜んでいました。掘り出された種は、約一か

月間冷蔵保存され、9月末頃から各生産者の圃場に定植されます。昨年産のそら豆は、干ばつや寒波の影響で、収量が計画の7割に留まっており、部会員らは今シーズンの豊作に期待を寄せています。



試し掘りされた鮮やかな赤紫色の『紅はるか』。ますますの出来に部会員の方々も一安心。

信頼関係を築き 早期ブランド化を目指す

JAごとう契約甘藷部会 目揃い会

部会員を激励する
（株）福岡ソノリクの園田社長



JAごとう契約甘藷部会は、9月中旬の収穫を前に8月22日、目揃い会を開き、収穫作業における注意点や選果基準などを部会内で共有しました。

同部会で栽培するのは、豊かな香りと甘さが特徴の『紅はるか』。今年は、13名の部会員が4月中旬に930㍓を作付けしています。

会場となった崎山地区の圃場には、取引先の（株）福岡ソノリク（本社 佐賀県鳥栖市）をはじめ関係機関からも参加。

（株）福岡ソノリクの園田壽俊代表取締役社長は挨拶の中で「栽培に適した五島を皆で甘藷の一大産地にしましょう」と激励しました。

同社の青果物販売事業部からは「栽培面積の拡大には、まず消費者に買ってもらうこと。そのためには高品質を維持することが重要で、ブランド化には欠かせない」とした上で、『紅はるか』は、皮が薄いため傷が付きやすい。傷の有無が市場価値を左右するとして、機械による収穫作業や選別作業には細心の注意を払うよう呼びかけられました。

また、実際に試し掘りした甘藷の



見事な甘藷を手手に喜ぶ亀山部会長。



サンプルを使って選果基準が説明されました。

前に、重さや形状などの選果基準が説明されると、部会員からは、多くの質問や確認を求める声が聞かれるなど、収穫に向けた意気込みが伝わってきました。

亀山光孝部会長も「今日の目揃い会を活かし、高品質の甘藷を出荷する事でソノリクさんとの信頼関係を築き、早期のブランド化を目指していきたい」と話しました。

15アールほどの畑にそばの種を蒔く児童たち。



紙コップでそばの種をすくい取る児童たち。

子供たちに知って 体験してもらう事

そばの種蒔き

食農教育活動 JAごとう青年部富江支部

JAごとう青年部富江支部は、8月28日、「食」を支える農業に関する知識・体験を含んだ「食農教育」の一環として、盈進小学校の5、6年生の児童21名とそばの種蒔きを行いました。事前に部員によって耕耘され、種蒔きの準備がされた約15アールの畑に集まった児童達に、青年部富江支部の出口拓人支部長が種蒔きの要領を説明した後、そばの種を受け取った児童達は横一列に並び、一斉に種蒔きを開始しました。

5年生の児童は、殆どが初めての種蒔きとあって、上級生から教わりながら種蒔きを楽しんでいました。30分ほどで種を蒔き終わると、部員がトラクターで薄く土を被せて作業が終了しました。

そばは、成長が早く、雑草や病害虫にも強い作物とされ、4～5日程度で芽を出し、2か月もすれば実を結びます。11月になれば収穫され、盈進小学校では、年末恒例のそば打ちを行い、皆で美味しく頂くことになっています。

種蒔きを終えた青年部員は「地域内でも住民同士の関わり合いが薄れてくる中で、次世代を担う子供たちに何らかの形で関わっていくことはとても大切なこと

だと思っています。特に今回のような食を支える農業活動を知って、体験してもらうことは我々にとっても有意義なことです。盈進小学校では、30年ほど前から年末の『盈進まつり』の中で、年寄りの方を講師に招いて、親子でそば打ちを楽しんでいます。親が、こういふ取り組みも長く続けていけるよう願っています」と話しました。



児童たちの種蒔きが終わると青年部員がトラクターで土を薄く被せていきました。



千葉県的女性部員と交流会を開催

JA市原市（千葉県）の女性部員である小泉蜜江さん（80）がJAごとうを訪れ、当JAの女性部員との交流会を行いました。

8月25日、JAごとうの女性部調理場を訪れると、小泉さん夫妻とJAごとうの女性部員5名の話し声が響いていました。走ることが趣味だという小泉さん。交流会の翌日にある「夕焼けマラソン」のハーフの部（21^キ）に参加すると聞いた女性部員は驚きの表情を見せていました。

今年3月にも交流会を行った小泉さん。その際に食べた「かんころ餅」を非常に気に入って、是非作り方を学びたいと、再度JAごとうを訪問。かんころ餅作りを体験していただくとともに、小泉さんは千葉の郷土料理である「太巻き」を相互に享受していました。小泉さんは「せっかくこうして出来た繋がりですので大事にしていきたいですね。今後の若い女性部員のためにも千葉と五島の懸け橋になればと思っています。」と笑顔で語ってくれました。



小泉さん夫妻



今回作成した料理



太巻き用の玉子を焼く小泉さん。「どんな道具でも綺麗に出来なきゃね!」と奮闘中。



巻き方の指導にも熱が入ります。



出来上がったかんころ餅を成型する小泉さん。



かんころ餅の製造過程を興味深そうに眺めます。



「出来立てのかんころ餅は格別ですね」と小泉さん。

8月5日・6日
レンタル着物展示会を開催



たくさんのご来場
誠にありがとうございました

麗宝展

上地区

2023.9.9 ~ 10

JA ごとう上五島支店 2F

下地区

2023.10.28 ~ 29

JA ごとう本店特設会場

皆様のご来場をお待ちしております。

金融窓口営業日変更のお知らせ

当JAでは、若松支店の金融窓口の営業日を9月1日より変更いたします。

皆様にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

対象店舗名		J Aごとう 若松支店
所在地		南松浦郡新上五島町若松郷160-11
変更開始日		令和5年9月1日
窓口 営業日	変更前	月曜日～金曜日（祝日、12/31～1/3は除く）
	変更後	月曜日、水曜日、金曜日（祝日、12/31～1/3は除く） 【休業日】火曜日、木曜日
窓口休業 日におけ る最寄り の店舗	店舗名	上五島支店
	所在地	南松浦郡新上五島町青方郷1578
	電話番号	0959-52-2077
	補足	お借入れの利用につきましては、今後、窓口営業日・休業日にかかわらず、上五島支店が窓口となります。 (若松支店でお借入れの申込をいただいた場合は、あらためて上五島支店からご相談させていただきます。)

※共済・購買業務については、通常通り営業いたします。

JAネットローン

(三菱UFJニコス保証型)

スマホ・パソコンから
申込が簡単に出来ます。
来店不要で結果を確認！



©よりぞう



<https://ja-netloan.jp/>

代表的なローンの金利

マイカーローン **1.90%**

教育ローン **2.60%**

他のローン金利については、JAネットローンのページよりご確認ください。

※審査結果については、後日 JA よりメール等で回答いたします。なお、応諾の場合、三菱 UFJ ニコス保証商品での正式申込み、および契約手続きが必要となります。詳しくは、JA 窓口でお気軽にお問合せ、ご相談ください。

コンテナ・パレットがないと困ります!!

目的外の使用はお断りしております。
必要とする人に行き渡るよう、互いに協力しましょう！



使用後は必ず返却して下さい。
コンテナ及びパレットは決して遊ばせないで下さい。





施設作業員募集

作業場所	作業期間
育苗センター	3月～11月
アスパラ選果場	3月～10月
ブロッコリー選果場	12月～5月
高菜加工施設	12月～3月
富江トマト選果場	9月～6月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。

☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを

社会保険労務士へ相談してみませんか？

開催日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)

開催時間 1)09:00～09:50 2)09:50～10:40
3)10:40～11:30 4)11:30～12:20

詳細は本店金融部までお問合せ下さい

☎0959-72-6212



高場 浄倫会館

誠意と真心でご奉仕いたします
事前のご相談も承ります

株式会社 JAごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場

五島がうま。

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1

電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922

営業時間：9時～19時 (7月～8月)

9時～18時30分 (上記以外の月)

※農家レストランは10時30分～14時 (予約については別途)

※土日限定バイキング 11時～14時

料金 大人：1,500円 子ども：700円 (小学生以下)

休業日：水曜日 棚卸日 (9/末、3/末) 年始 (1/1・2・3)

編集 後記

連日暑い日が続いています。取材をするのも大変ではありますが、コロナ禍のマスク時代に比べると随分やりやすくなりました。組合員や子どもたちの表情を撮影できるというメリットももちろんですが、夏場の炎天下でのノーマスクの素晴らしさを実感しています。

今月号では、色々な作物の播種の様子を取材させて頂きました。今後、これらの苗は組合員さんたちの手に渡り、圃場での作業が開始されていくこととなりますが、今年は残暑が厳しいという予報も出ていますので、組合員の皆様方には、熱中症対策を十分に行って頑張ってくださいと思います。

(長瀧 俊一)



●JAごとうNo.211 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211

●http://www.ja-gotoh.or.jp ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。